

まち歩きチェックポイント

1 人の視線が届きにくい場所

- 木が多くて暗い公園や神社
- 死角の多い駐車場
- 空き家の多いビル
- 公園内のトイレまたその裏
- 人が住んでいない荒れた家
- ビルの暗い入り口や脇の陰
- 線路脇や地下道
- 夜に明かりが少ない道
- 縦列駐車が多い道
- 道路の両側に高く長い壁が続いている道
- 人通りが少ない道

2 ルール違反の場所も要注意

- 落書きが放置された壁
- ごみが散乱している場所
- 放置自転車が多い道
- 違法駐車が多い道
- 夜、酔っ払いが多い道
- 暴力事件があったビル
- ひたくり看板のある場所
- たばこの吸い殻が落ちている場所

3 交通事故の危険性が高い場所

- 歩道がない細い道
(車に引っ張り込まれそうになる危険もあるので誘拐の危険性もある)
- 信号がない交差点
- 縦列駐車が多い道

4 意外に思う危険な場所

- 見えにくい駐輪場
(駐輪場の中には道路や住宅から見えにくい位置に設置されているものがある。また、汚くしていると、ルール違反をする人を呼び込んでしまう場所になることもある)
- 不特定多数の人が集まる場所
(人目が多いからと安心してしまうところが盲点。子どもに話しかけても不審に思う人が少ないので、事件等に巻き込まれる危険性がある)
- 交通量は多いが人通りが少ない道
(人通りが少ないと車で連れ去られる危険性がある)

【参考】「子どもを守る地域安全マップを作ろう」

特定非営利活動法人 子どもの危険回避研究所